

日野川のホタルに、心満喫
ホタル観察会&ナイトウォーク



▲日野川を飛びかう無数のホタル▶講師の干村さん

6月12日、町公民館主催の「ホタル観察会&ナイトウォーク」が開催されました。

はじめに大山自然歴史館観察員の干村隆司さんが、ホタルの生態や、町内の生息状況、世界のホタルの写真を紹介。同イベントに参加した約40人は、興味津々に聞き入っていました。

説明会の後は、町文化センターから日野川沿いの舟場河川敷付近まで歩き、ホタルを観察。参加者は、約500匹のゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交う初夏の夜を満喫しました。

水がはぐくむ希少な生き物を観察

ハッチョウトンボを探しに行こう



▲説明を聞きながら観察する参加者▶逆立ちをするハッチョウトンボ

6月20日、滝山公園の湿地ビオトープで「自然観察会ハッチョウトンボを探しに行こう！」が開催されました。

これは、黒坂小学校土曜授業の一環としても取り組まれているもので、当日は一般の人も含め約70人が参加。講師の池田兆一さん、干村隆司さんからハッチョウトンボの保全や生態について話を聞きました。

当日はハッチョウトンボのほかにも、ハラビロトンボ、モリアオガエルの卵などといった貴重な生き物たちも観察され、参加者から歓声が上がりました。

日本海新聞ふるさと大賞 2019 表彰式

新たな町の魅力発信に貢献、スポーツでの活躍をたたえる



《スポーツ功労賞》

吉川恵大さん・青戸晴樹さん

第32回中国地区中学生ソフトテニスインドア大会に県代表として出場。個人戦で優勝という輝かしい成績を残しました。また、団体戦でも好成績を収め、全国大会にも出場するなど、年間を通じて優秀な成績を収められました。



《地域貢献賞》

奥日野ガイド倶楽部

平成24年秋から根雨の町中ガイドを始め、出雲街道トレッキング、都合山たたら跡をメインとした産業遺跡の紹介。また「古民家沙々樹」をステージに、コンサート、百人一首かるた会の定期開催を行うなど、多方面にわたる地域の歴史・文化の紹介に尽力しました。

県内の地域発展やスポーツ振興に功績のあった人を表彰する、日本海新聞ふるさと大賞・日野町の部の表彰式が、6月19日、町役場で行われました。今回は、地域貢献賞に奥日野ガイド倶楽部（佐々木彬夫会長）の皆さんが、スポーツ功労賞に青戸晴樹さんと吉川恵大さん（日野中学校ソフトテニス部男子）の2組が選ばれ、賞状と記念品が贈られました。



農地の草刈り、水路の掃除などお任せを

日野町アグリサポーター任命式

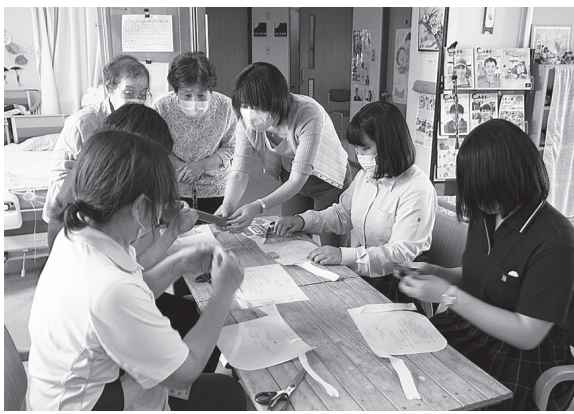


やる気に満ちたアグリサポーターの皆さん

6月22日、町役場で、日野町アグリサポーター任命式が行われました。アグリサポーターは、農家の皆さんの負担軽減を図るために、農地の草刈りや水路の掃除などの作業を行います。この日は、第1期生として、男性7名、女性1名が任命されました。任命式では、町長から委嘱状や、ユニフォームが授与され、女性農業者である岩本爽さんは「日野町の農家が意欲を持って農業に取り組んでいけるよう、精一杯手助けします」と決意表明を行いました。

口元見えやすく快適に

かじか荘で日野高生がフェイスシールド作り



手作りフェイスシールドに興味津々

6月8日、日翔会デイサービスかじか荘で、日野高校ヒューマンケア系列の2年生2人が、かじか荘職員にフェイスシールドの作り方を説明しました。フェイスシールドは口元が見えやすく口腔体操などに適しているため、かじか荘職員が日野高校に依頼し、説明会を開催。実際に作成した後、日野高生の銀羽愛桜さんと山田楓夏さんは出来上がったシールドを付け、かじか荘利用者と一緒に口腔体操を行いました。利用者からは「口元が見えやすくていい」と好評で、笑顔があふれた時間となりました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第84回

口から生まれた「かばちたれ」

日野のあたりでは、文句を言うこと、大口を叩くこと、減らず口のことを「かばち」、それらをする人を「かばちたれ」などと呼びます。「かばちいたれんな!」「あのもんはかばちたれだけえ」などなど、聞いたことがあるのでは? 広島が舞台の「カバチタレ」という、ドラマ化もされた漫画作品もあるように、西日本で広く使われている方言でもあります。 さて、この「かばち」、いったい何のことなのでしょう。

かばちを漢字で書くと「輔」「頷」となり、これは、上下のあごの骨、転じて「口」という意味の古語なのだとか。

また、「かまち(框)」とも言い、これは、戸や窓、障子などの周囲の枠、つまり「開口部」のことを指します。

以上のことから考えるに、カバチタレとは、まさに「口から生まれたような人」のことを指すのでしょうか。昔の人は面白いことを考えたものですね。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

補助金の限度額を増額

「日野町地域集会所等バリアフリー助成事業補助金」限度額の変更について

町では、「日野町地域集会所等バリアフリー助成事業補助金要綱」を変更し、自治会が所有する集会所などのバリアフリー化に伴う改修工事(段差解消、手すり設置、トイレ洋式化など)



への補助金の限度額を増額しました。利用しやすくなりましたので、ぜひご活用ください。



- 【変更前】 工事費の3分の2 限度額 20万円
- 【変更後】 工事費の3分の2 限度額 50万円

問合せ先 / 役場建設水道課(電話 72-0350)